



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,030	9.5	327	△26.2	798	—	△198	—
25年3月期第2四半期	32,906	△11.3	443	△81.5	△215	—	△534	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,498百万円 (396.3%) 25年3月期第2四半期 301百万円 (△85.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△7.67	—
25年3月期第2四半期	△20.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	63,895	31,097	46.4
25年3月期	61,355	29,822	46.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 29,632百万円 25年3月期 28,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	14.5	1,200	108.1	1,600	12.6	100	△53.7	3.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	26,080,396 株	25年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	131,342 株	25年3月期	131,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	25,949,121 株	25年3月期2Q	25,949,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では金融緩和策の継続により緩やかな回復基調が続いたものの、欧州における債務問題の長期化による低迷や中国等の新興国経済の成長鈍化などにより、全体として低迷した状況が続きました。一方、日本では政府の経済・金融政策を背景とした、円安・株高などが進み、輸出環境や企業収益の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復へと向かいました。

当社グループを取り巻く経営環境は、欧州景気低迷の影響を受け、欧州を主力市場とするローター社の業績が、依然として厳しい状況ですが、円安の影響により海外売上高が増加しました。一方、海外から調達している当社の主原料が円安の影響で価格が上昇し、製品価格への転嫁に努めましたが、国内業績は厳しい状況が続きました。

その結果、当社の当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は360億3千万円となり、前年同四半期に比べ31億2千3百万円(9.5%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は3億2千7百万円で前年同四半期に比べ1億1千6百万円(△26.2%)の減益となりました。経常利益は、為替差益4億1千6百万円により、7億9千8百万円(前年同四半期は経常損失2億1千5百万円)となりました。特別損失として、固定資産売却損を4億2千5百万円計上したことにより、四半期純損失は1億9千8百万円と前年同四半期に比べ3億3千5百万円の改善となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りです。

なお、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(樹脂化成品)

国内の印刷インキは、出版および広告印刷の低迷により、ロジン为原料とする平版インキの生産量が減少しましたが、印刷インキ用樹脂は前年同期並みの販売を維持しました。一方、中国も含め価格競争の激化により収益性が低下しました。粘接着剤用樹脂は中国国内において厳しい価格競争により伸び悩みました。塗料用樹脂は、新設住宅着工戸数や商業施設などの大型建築物が増加したことにより、販売数量が増加しましたが、原料価格上昇の製品価格への転嫁が遅れ、収益に影響を与えました。自動車タイヤ用合成ゴムの製造に使用される乳化剤は前年同期並みの販売で堅調に推移しました。

機能性塗工剤などの新製品は、タブレット端末用タッチパネルなどに用いられる光学フィルム用表面塗工剤を市場に投入し、成果が得られつつあります。

その結果、当部門の売上高は101億8千万円で、前年同四半期に比べ5億1千4百万円(△4.8%)の減収となりました。セグメント利益は4千4百万円と前年同四半期に比べ1億6千3百万円(△78.6%)の減益となりました。

(製紙用薬品)

国内の紙・板紙生産量は印刷・情報用紙の生産量が、円安の影響を受け輸入紙が減少するとともに輸出が増え、当第2四半期以降は消費税増税前の駆け込み需要もあり、昨年までの減少傾向に歯止めがかかり、回復基調で推移しています。

中国の紙・板紙生産量は前年同期比で微増に留まり1月以降横ばいで推移しました。中国の製紙業界では、製紙メーカー間の競争がさらに激化し、製紙用薬品の競合もますます激しくなっています。

このような環境下、当部門では、米国、中国において業績は堅調に推移しましたが、国内では製紙会社におけるコスト削減対策の影響を受け使用薬品の低減により販売量は伸び悩みました。

その結果、当部門の売上高は71億9千7百万円で、前年同四半期に比べ11億5千1百万円(19.1%)の増収となりました。セグメント利益は円安による原料価格の上昇を製品価格へ転嫁が進まなかったことから、2億4千1百万円と前年同四半期に比べ1億1千9百万円(△33.0%)の減益となりました。

(電子材料)

当部門が関連する自動車業界の当第2四半期における国内自動車生産台数は、前年同期比で減少したまま推移しましたが、米国、中国での生産台数は好調であり、世界の自動車生産台数は、前年同期比微増となりました。

一方、民生用機器の国内出荷は、対前年同期比で減少し、特に映像機器の落ち込みが大きく影響しました。

このような厳しい環境でしたが、当部門の国内売上高は自動車用熱交換器に使用されるアルミニウム用ろう材ペースト、新規導電性ペーストの販売増により、増収増益となりました。

海外においても世界の自動車業界の好調を受け、アルミニウム用ろう材ペーストの販売が増加しました。

その結果、当部門の売上高は25億3千3百万円で、前年同四半期に比べ3億3千3百万円(15.1%)の増収となりました。セグメント利益は1億8千4百万円と前年同四半期に比べ1億1千万円(148.9%)の増益となりました。

(ローター)

当部門の主要市場である欧州・北米では、主力市場である欧州が景気後退の影響を受け、印刷インキ用樹脂の販売は、引き続き厳しい状況で推移しました。

一方、粘接着剤用樹脂は、欧州、北米、南米、アジア、オセアニアで堅調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は152億3千2百万円となり、円安の影響で、前年同四半期に比べ20億8千9百万円(15.9%)の増収となりました。セグメント損失は、コスト削減等により、3億4千4百万円と前年同四半期に比べ3億5千4百万円の改善となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は638億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億4千万円増加しました。自己資本比率は46.4%となりました。増減の主なもの、流動資産では売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が3億5千7百万円増加しました。流動負債では原材料仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が9億9千万円増加し、運転資金の需要により短期借入金が増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも上昇すると見込まれますが、欧州の債務問題や米国の金融緩和策の影響、中国経済の先行きなど不透明な状況が続いております。日本においては、昨年末からの円安進行による輸出環境の改善や政府の経済対策効果への期待などにより、企業業績に回復の兆しがあるものの、当社グループにとりましては不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

このような環境下、海外売上高比率が50%を超える当社グループは、グローバルに展開した拠点網を活かし、世界各地域の経営環境や顧客ニーズの変化を的確に捉え、業績回復に全力で取り組んでまいります。

なお、当期（2013年4月1日から2014年3月31日）の通期の業績予想につきましては、本日（2013年11月1日）付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,474,847	4,687,070
受取手形及び売掛金	17,542,313	17,899,726
商品及び製品	5,012,759	4,666,898
原材料及び貯蔵品	4,243,564	5,319,041
その他	2,865,238	3,040,570
貸倒引当金	△122,895	△105,649
流動資産合計	33,015,828	35,507,657
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,664,738	10,150,047
その他(純額)	11,833,515	12,411,583
有形固定資産合計	22,498,254	22,561,630
無形固定資産		
その他	882,830	789,252
無形固定資産合計	882,830	789,252
投資その他の資産		
その他	4,973,037	5,052,214
貸倒引当金	△14,915	△14,915
投資その他の資産合計	4,958,122	5,037,299
固定資産合計	28,339,207	28,388,181
資産合計	61,355,035	63,895,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,854,481	7,845,247
短期借入金	8,662,615	9,743,253
1年内返済予定の長期借入金	1,736,782	1,790,667
未払法人税等	648,634	605,373
役員賞与引当金	—	21,580
その他	3,882,306	3,581,347
流動負債合計	21,784,821	23,587,469
固定負債		
長期借入金	6,014,853	5,340,708
長期預り保証金	934,589	866,289
退職給付引当金	868,477	947,810
役員退職慰労引当金	463,624	475,738
資産除去債務	46,052	46,364
その他	1,419,899	1,533,966
固定負債合計	9,747,496	9,210,878
負債合計	31,532,318	32,798,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,742,457	9,361,858
自己株式	△61,998	△62,042
株主資本合計	29,437,790	29,057,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509,997	808,206
為替換算調整勘定	△1,437,448	△232,368
その他の包括利益累計額合計	△927,450	575,838
少数株主持分	1,312,377	1,464,506
純資産合計	29,822,716	31,097,491
負債純資産合計	61,355,035	63,895,839



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
売上高	32,906,718	36,030,555
売上原価	26,635,041	29,366,673
売上総利益	6,271,677	6,663,882
販売費及び一般管理費	5,827,998	6,336,604
営業利益	443,678	327,277
営業外収益		
受取利息	22,204	24,641
受取配当金	29,782	31,930
不動産賃貸料	60,547	63,488
為替差益	—	416,685
その他	107,618	154,772
営業外収益合計	220,152	691,518
営業外費用		
支払利息	196,032	164,448
為替差損	635,662	—
その他	47,325	55,348
営業外費用合計	879,019	219,796
経常利益又は経常損失(△)	△215,188	798,999
特別利益		
保険解約返戻金	—	142,148
特別利益合計	—	142,148
特別損失		
投資有価証券評価損	39,645	—
固定資産売却損	—	425,702
減損損失	—	54,226
特別損失合計	39,645	479,928
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△254,834	461,218
法人税、住民税及び事業税	214,812	586,284
法人税等調整額	109,517	19,784
法人税等合計	324,329	606,068
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△579,163	△144,849
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△44,428	54,105
四半期純損失(△)	△534,735	△198,954

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△579,163	△144,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150,124	298,196
為替換算調整勘定	1,031,284	1,345,318
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	11
その他の包括利益合計	881,139	1,643,527
四半期包括利益	301,975	1,498,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,231	1,304,334
少数株主に係る四半期包括利益	△15,256	194,343

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△254,834	461,218
減価償却費	1,035,108	1,061,751
減損損失	—	54,226
のれん償却額	44,105	53,114
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,224	△29,995
受取利息及び受取配当金	△51,986	△56,571
支払利息	196,032	164,448
為替差損益(△は益)	644,743	△442,783
持分法による投資損益(△は益)	△16,280	△12,858
有形固定資産売却損益(△は益)	△23	425,974
投資有価証券評価損益(△は益)	39,645	—
売上債権の増減額(△は増加)	869,797	477,349
たな卸資産の増減額(△は増加)	613,743	15,916
仕入債務の増減額(△は減少)	26,361	510,963
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,680	21,580
その他	△510,479	△465,114
小計	2,607,028	2,239,221
利息及び配当金の受取額	63,097	62,940
利息の支払額	△217,521	△169,924
法人税等の支払額	△926,903	△649,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,525,701	1,483,064
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,180,436	△849,424
有形固定資産の売却による収入	28,891	290,554
投資有価証券の取得による支出	△110,499	△155,871
投資有価証券の売却による収入	318,723	229,600
貸付けによる支出	△150	—
貸付金の回収による収入	898	295
その他	△29,269	257,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△971,841	△227,706
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△618,298	699,323
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△761,964	△905,101
配当金の支払額	△181,644	△181,644
少数株主への配当金の支払額	△17,213	△45,186
預り保証金の返還による支出	△82,451	△68,611
その他	△31,929	△31,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,693,500	△433,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	51,952	389,343
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,087,688	1,211,563
現金及び現金同等物の期首残高	5,217,885	3,470,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,130,196	4,682,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	ローター (千円)	計 (千円)				
売上高									
外部顧客に対する売上高	10,694,629	6,046,083	2,200,165	13,143,321	32,084,199	841,028	32,925,227	△18,509	32,906,718
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	108,543	296,332	—	128,981	533,856	27,979	561,836	△561,836	—
計	10,803,172	6,342,415	2,200,165	13,272,302	32,618,056	869,007	33,487,063	△580,345	32,906,718
セグメント利益 又は損失(△)	208,147	360,801	74,115	△699,174	△56,110	53,158	△2,951	△212,236	△215,188

II 当第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	ローター (千円)	計 (千円)				
売上高									
外部顧客に対する売上高	10,180,529	7,197,961	2,533,422	15,232,751	35,144,665	885,901	36,030,567	△11	36,030,555
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	109,494	348,592	—	125,024	583,111	66,009	649,120	△649,120	—
計	10,290,023	7,546,554	2,533,422	15,357,776	35,727,776	951,911	36,679,687	△649,132	36,030,555
セグメント利益 又は損失(△)	44,594	241,773	184,489	△344,493	126,363	78,343	204,707	594,291	798,999

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と調整を行っております。

III 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは前第3四半期連結会計期間の組織変更を契機に、業績管理区分の見直しを行っております。これにより、報告セグメントを従来の「樹脂化成品事業」「製紙用薬品事業」「電子材料事業」「その他事業」の4区分から、「樹脂化成品事業」「製紙用薬品事業」「電子材料事業」「ローター」「その他事業」の5区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2014年3月期 第2四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2013/3期		2014/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	13.0億円	22.9億円	8.2億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2013/3期		2014/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	10.3億円	21.0億円	10.6億円	22.0億円

3. セグメント別売上高

	2013/3期		2014/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	106.9億円	205.4億円	101.8億円	207.7億円
製紙用薬品	60.4億円	124.1億円	71.9億円	148.1億円
電子材料	22.0億円	43.6億円	25.3億円	50.7億円
ローター	131.4億円	252.9億円	152.3億円	310.9億円
その他	8.4億円	15.9億円	8.8億円	17.6億円
調整額	△0.1億円	0.1億円	0.2億円	-
合計	329.0億円	642.0億円	360.3億円	735.0億円

4. 海外売上高

	2013/3期		2014/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	63.8億円	19.4%	74.8億円	20.8%
アジア	37.8億円	11.5%	45.3億円	12.6%
欧州他	71.7億円	21.8%	86.2億円	23.9%
合計	173.4億円	52.7%	206.4億円	57.3%